

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2020.6.15-21

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

31:9 モーセはこのみおしえを書きしるし、主の契約の箱を運ぶレビ族の祭司たちと、イスラエルのすべての長老たちとに、これを授けた。

31:10 そして、モーセは彼らに命じて言った。「七年の終わりごとに、すなわち免除の年の定めの時、仮庵の祭りに、

31:11 イスラエルのすべての人々が、主の選ぶ場所で、あなたの神、主の御顔を拝するために来るとき、あなたは、イスラエルのすべての人々の前で、このみおしえを読んで聞かせなければならない。

31:12 民を、男も、女も、子どもも、あなたの町囲みの中にいる在留異国人も、集めなさい。彼らがこれを聞いて学び、あなたがたの神、主を恐れ、このみおしえのすべてのことばを守り行なうためである。

31:13 これを知らない彼らの子どもたちもこれを聞き、あなたがたが、ヨルダンを渡って、所有しようとしている地で、彼らが生きるかぎり、あなたがたの神、主を恐れることを学ばなければならない。」

31:14 それから、主はモーセに仰せられた。「今や、あなたの死ぬ日が近づいている。ヨシヤア呼び寄せ、ふたりで会見の天幕に立て。わたしは彼に命令を下そう。」それで、モーセとヨシヤアは行って、会見の天幕に立った。

31:15 主は天幕で雲の柱のうちに現われた。雲の柱は天幕の入口にとどまった。

31:16 主はモーセに仰せられた。「あなたは間もなく、あなたの先祖たちとともに眠ろうとしている。この民は、はいつて行こうとし

ている地の、自分たちの中の、外国の神々を慕って淫行をしようとしている。この民がわたしを捨て、わたしがこの民と結んだわたしの契約を破るなら、

31:17 その日、わたしの怒りはこの民に対して燃え上がり、わたしも彼らを捨て、わたしの顔を彼らから隠す。彼らが滅ぼし尽くされ、多くのわざわいと苦難が彼らに降りかかると、その日、この民は、『これらのわざわいが私たちに降りかかるのは、私たちのうちに、私たちの神がおられないからではないか。』と言うであろう。

31:18 彼らがほかの神々に移って行って行なったすべての悪のゆえに、わたしはその日、必ずわたしの顔を隠そう。

モーセが世を去るにあたって、その後に願ったことは、自分の名誉でも子孫への財産分与でもなく、ただ主の「みおしえ」に民が従うということでした。それは彼のライフワークの完成とか、夢の続きというのではなく、神である主の御心です。

モーセの思いはきっと、これから主にお会いするのだから、その主の思いに最後まで沿いたいというものであったらうと思われれます。死とは人生の完成や終焉ではなく、神様との永遠の始まりなのです。

私たちに多くはまだ地上の時間が長いと思っ
ているでしょう。ただ、自分の目標や動機が自分
を中心に行っているか、神を中心に行っているかは、
人によって違うでしょう。主を中心に据える生き
方には動揺がありません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



31:19 今、次の歌を書きしるし、それをイスラエル人に教え、彼らの口にそれを置け。この歌をイスラエル人に対するわたしのあかしとするためである。

31:20 わたしが、彼らの先祖に誓った乳と蜜の流れる地に、彼らを導き入れるなら、彼らは食べて満ち足り、肥え太り、そして、ほかの神々のほうに向かい、これに仕えて、わたしを侮り、わたしの契約を破る。

31:21 多くのわざわいと苦難が彼に降りかかるとき、この歌が彼らに対してあかしをする。彼らの子孫の口からそれが忘れられることはないからである。わたしが誓った地に彼らを導き入れる以前から、彼らが今たくらんでいる計画を、わたしは知っているからである。」

31:22 モーセは、その日、この歌を書きしるして、イスラエル人に教えた。

31:23 ついで主は、ヌンの子ヨシュアに命じて言われた。「強くあれ。雄々しくあれ。あなたはイスラエル人を、わたしが彼らに誓った地に導き入れなければならないのだ。わたしが、あなたとともにいる。」

31:24 モーセが、このみおしえのことばを書物に書き終えたとき、

31:25 モーセは、主の契約の箱を運ぶレビ人に命じて言った。

31:26 「このみおしえの書を取り、あなたがたの神、主の契約の箱のそばに置きなさい。その所で、あなたに対するあかしとしなさい。

31:27 私は、あなたの逆らいと、あなたがうなじのこわい者であることを知っている。私が、なおあなたがたの間に生きている今です



ら、あなたがたは主に逆らってきた。まして、私の死後はどんなであろうか。

31:28 あなたがたの部族の長老たちと、つかさたちとをみな、私のもとに集めなさい。私はこれらのことばを彼らに聞こえるように語りたい。私は天と地を、彼らに対する証人に立てよう。

31:29 私の死後、あなたがたがきつと墜落して、私が命じた道から離れること、また、後の日に、わざわいがあなたがたに降りかかることを私が知っているからだ。これは、あなたがたが、主の目の前に悪を行ない、あなたがたの手のわざによって、主を怒らせるからである。」

モーセは歌を書きしるしました。歌という言葉は言葉を覚えるのに、とても効果的です。また共に歌うことができるので、その内容において一致の心が生まれます。詩篇などはその良い例です。私たちも、主への信仰の歌を大切に、またその力を使いましょう。

そしてモーセは主のことばを引用して、自分の後継者であるヨシュアを励ましました。人を励ますときにみことばほど力のあるものはありません。自分のことばや経験で人が元気になれば、うれしいですし誇らしいものですが、人のことばには一時的な力しかありません。主のことばを与えてあげましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



17日 水曜

申命記

31:30 モーセは、イスラエルの全集會に聞こえるように、次の歌のことばを終わりまで唱えた。

32:1 天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。地よ。聞け。私の口のことばを。

32:2 私のおしえは、雨のように下り、私のことばは、露のようにしたたる。若草の上の小雨のように。青草の上の夕立のように。

32:3 私が主の御名を告げ知らせるのだから、栄光を私たちの神に帰せよ。

32:4 主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。主は眞実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

32:5 主をそこない、その汚れで、主の子らではない、よこしまで曲がった世代。

32:6 あなたがたはこのように主に恩を返すのか。愚かで知恵のない民よ。主はあなたを造った父ではないか。主はあなたを造り上げ、あなたを堅く建てるのではないか。

32:7 昔の日々を思い出し、代々の年を思え。あなたの父に問え。彼はあなたに告げ知らせよう。長老たちに問え。彼らはあなたに話してくれよう。

32:8 「いと高き方が、国々に、相続地を持たせ、人の子らを、振り当てられたとき、イスラエルの子らの数にしたがって、国々の民の境を決められた。

32:9 主の割り当て分はご自分の民であるから、ヤコブは主の相続地である。

32:10 主は荒野で、獣のほえる荒地で彼を見つけ、これをいだし、世話をし、ご自分のひとみのように、これを守られた。



32:11 わしが巢のひなを呼びさまし、そのひなの上を舞いかけり、翼を広げてこれを取り、羽に載せて行くように。

32:12 ただ主だけでこれを導き、主とともに外国の神は、いなかった。

32:13 主はこれを、地の高い所に上らせ、野の産物を食べさせた。主は岩からの蜜と、堅い岩からの油で、これを養い、

32:14 牛の凝乳と、羊の乳とを、最良の子羊とともに、バシヤンのものである雄羊とともに、雄やぎとを、小麦の最も良いものとともに、食べさせた。あわ立つぶどうの血をあなたは飲んでいて。」

モーセの歌が32節から始まります。はじめに神様の正義と眞実が語られますが、一方イスラエルの「よこしまで曲がった」民であることが告発されています。モーセの告発は、それによって溜飲を下げるといったものではなく、イスラエルに「昔の日々を思い出し」て、主のみわざを再認識するためのものです。

そこには主の慈しみと力が述べられています。私たちが人生を振り返り、もう一度主のこれまでの慈しみを思い出し、それを可能とした主の力に信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



32:15 エシュルンは肥え太ったとき、足でけった。あなたはむさぼり食って、肥え太った。自分を造った神を捨て、自分の救いの岩を軽んじた。

32:16 彼らは異なる神々で、主のねたみを引き起こし、忌みきらうべきことで、主の怒りを燃えさせた。

32:17 神ではない悪霊どもに、彼らはいけにえをささげた。それらは彼らの知らなかった神々、近ごろ出てきた新しい神々、先祖が恐れもしなかつた神々だ。

32:18 あなたは自分を生んだ岩をおろそかにし、産みの苦しみをした神を忘れてしまった。

32:19 主は見て、彼らを退けられた。主の息子と娘たちへの怒りのために。

32:20 主は言われた。「わたしの顔を彼らに隠し、彼らの終わりがどうなるかを見よう。彼らは、ねじれた世代、真実のない子らであるから。

32:21 彼らは、神でないもので、わたしのねたみを引き起こし、彼らのむなしいもので、わたしの怒りを燃えさせた。わたしも、民ではないもので、彼らのねたみを引き起こし、愚かな国民で、彼らの怒りを燃えさせよう。

32:22 わたしの怒りで火は燃え上がり、よみの底にまで燃えて行く。地とその産物を焼き尽くし、山々の基まで焼き払おう。

32:23 わざわいを彼らの上に積み重ね、わたしの矢を彼らに向けて使い尽くそう。

32:24 飢えによる荒廃、災害による壊滅、激しい悪疫、野獣のきば、これらを、地をほう蛇の毒とともに、彼らに送ろう。

32:25 外では剣が人を殺し、内には恐れがあ

る。若い男も若い女も乳飲み子も、白髪の老人もともどもに。

32:26 わたしは彼らを粉々にし、人々から彼らの記憶を消してしまおうと考えたであろう。

32:27 もし、わたしが敵のののしりを気づかっていないのだったら。・・・彼らの仇が誤解して、『われわれの手で勝ったのだ。これはみな主がしたのではない。』と言うといけない。」

32:28 まことに、彼らは思慮の欠けた国民、彼らのうちに、英知はない。

32:29 もしも、知恵があったなら、彼らはこれを悟ったろうに。自分の終わりもわきまえたろうに。

32:30 彼らの岩が、彼らを買わず、主が、彼らを渡さなかつたなら、どうして、ひとりが千人を追い、ふたりが万人を敗走させたろうか。

32:31 まことに、彼らの岩は、私たちの岩には及ばない。敵もこれを認めている。

32:32 ああ、彼らのぶどうの木は、ソドムのぶどうの木から、ゴモラのぶどう畑からのもの。彼らのぶどうは毒ぶどう、そのふさは苦みがある。

32:33 そのぶどう酒は蛇の毒、コブラの恐ろしい毒である。

32:34 「これはわたしのもとにたくわえてあり、わたしの倉に閉じ込められているではないか。

32:35 復讐と報いとは、わたしのもの、それは、彼らの足がよろめくときのため。彼らのわざわいの日は近く、来るべきことが、すみやかに来るからだ。」

32:36 主は御民をかばい、主のしもべらをあ

われむ。彼らの力が去って行き、奴隷も、自由の者も、いなくなるのを見られるときに。

エシュルンとはイスラエルの呼称で、可愛い子どもを呼ぶようなニュアンスです。主はイスラエルをわが子のように成長に導いたのですが、実際は「肥え太」って親である神を「軽んじ」てしまったのです。私たちが神様から育てられた結果が、おごり高ぶりとなり、神様を軽んじないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



32:37 主は言われる。「彼らの神々は、どこにいるのか。彼らが頼みとした岩はどこにあるのか。」

32:38 彼らのいけにえの脂肪を食らい、彼らの注ぎのぶどう酒を飲んだ者はどこにいるのか。彼らを立たせて、あなたがたを助けさせ、あなたがたの盾とならせよ。

32:39 今、見よ。わたしこそ、それなのだ。わたしのほかに神はいない。わたしは殺し、また生かす。わたしは傷つけ、またいやす。わたしの手から救い出せる者はいない。

32:40 まことに、わたしは誓って言う。『わたしは永遠に生きる。』

32:41 わたしがきらめく剣をとぎ、手にさばきを握るとき、わたしは仇に復讐をし、わたしを憎む者たちに報いよう。

32:42 わたしの矢を血に酔わせ、わたしの剣に肉を食わせよう。刺し殺された者や捕われた者の血を飲ませ、髪を乱している敵の頭を食わせよう。』

32:43 諸国の民よ。御民のために喜び歌え。主が、ご自分のしもべの血のかたきを討ち、ご自分の仇に復讐をなし、ご自分の民の地の贖いをされるから。

32:44 モーセはヌンの子ホセアといっしょに行き、この歌のすべてのことばを、民に聞こえるように唱えた。

32:45 モーセはイスラエルのすべての人々に、このことばをみな唱え終えてから、

32:46 彼らに言った。「あなたがたは、私が、きょう、あなたがたを戒めるこのすべてのことばを心に納めなさい。それをあなたがたの子どもたちに命じて、このみおしえのすべて

のことばを守り行なわせなさい。

32:47 これは、あなたがたにとって、むなしなことばではなく、あなたがたのいのちであるからだ。このことばにより、あなたがたは、ヨルダンを渡って、所有しようとしている地で、長く生きることができる。」

32:48 この同じ日に、主はモーセに告げて仰せられた。

32:49 「エリコに面したモアブの地のこのアバリム高地のネボ山に登れ。わたしがイスラエル人に与えて所有させようとしているカナン地を見よ。

32:50 あなたの兄弟アロンがホル山で死んでその民に加えられたように、あなたもこれから登るその山で死に、あなたの民に加えられよ。

32:51 あなたがたがツインの荒野のメリバテ・カデシュの水のほとりで、イスラエル人の中で、わたしに対して不信の罪を犯し、わたしの神聖さをイスラエル人の中に現わさなかったからである。

32:52 あなたは、わたしがイスラエルの人々に与えようとしている地を、はるかにながめることはできるが、その地へは行って行くことはできない。」

34 節から 43 節は主がイスラエルの敵に復讐してくださるということが述べられています。どんなに主の恩を忘れても、それで主に背くことがあっても、主に立ち返るなら愛で回復してくださるのが神様です。主に背いていた時は、敵にやられっぱなしであったでしょうが、主に立ち返るなら状況は一変します。主は敵に「血のかたきを討」ってくださるのです。

また主は「イスラエル人に与えて所有させようとしているカナン地」を見せて、大いなる希望

を与えてくださいました。主の希望を見せていただきましょう。その希望のゆえに主意従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



33:1 これは神の人モーセが、その死を前にして、イスラエル人を祝福した祝福のことばである。

33:2 彼は言った。「主はシナイから来られ、セイルから彼らを照らし、パランの山から光を放ち、メリバテ・カデシュから近づかれた。その右の手からは、彼らにいなづまがきらめいていた。

33:3 まことに国々の民を愛する方、あなたの御手のうちに、すべての聖徒たちがいる。彼らはあなたの足もとに集められ、あなたの御告げを受ける。

33:4 モーセは、みおしえを私たちに命じ、ヤコブの会衆の所有とした。

33:5 民のかしらたちが、イスラエルの部族とともに集まったとき、主はエシュルンで王となられた。」

33:6 「ルベンは生きて、死なないように。その人数は少なくとも。」

33:7 ユダについては、こう言った。「主よ。ユダの声を聞き、その民に、彼を連れ返してください。彼は自分の手で戦っています。あなたが彼を、敵から助けてください。」

33:8 レビについて言った。「あなたのトンミムとウリムとを、あなたの聖徒のものとしてください。あなたはマサで、彼を試み、メリバの水のほとりで、彼と争われました。

33:9 彼は、自分の父と母について、『私は、彼らを顧みない。』と言いました。また彼は自分の兄弟をも認めず、その子どもをさえ無視し、ただ、あなたの仰せに従ってあなたの契約を守りました。

33:10 彼らは、あなたの定めをヤコブに教え、

あなたのみおしえをイスラエルに教えます。彼らはあなたの御前で、かおりの良い香をたき、全焼のささげ物を、あなたの祭壇にささげます。

33:11 主よ。彼の資産を祝福し、その手のわざに恵みを施してください。彼の敵の腰を打ち、彼を憎む者たちが、二度と立てないようにしてください。」

33:12 ベニヤミンについて言った。「主に愛されている者。彼は安らかに、主のそばに住まい、主はいつまでも彼をかばう。彼が主の肩の間に住むかのように。」

33:13 ヨセフについて言った。「主の祝福が、彼の地にあるように。天の賜物の露、下に横たわる大いなる水の賜物、

33:14 太陽がもたらす賜物、月が生み出す賜物、

33:15 昔の山々からの最上のもの、太古の丘からの賜物、

33:16 地とそれを満たすものの賜物、柴の中におられた方の恵み、これらがヨセフの頭の上にあり、その兄弟たちから選び出された者の頭の頂の上にあるように。

33:17 彼の牛の初子には威厳があり、その角は野牛の角。これをもって地の果て果てまで、国々の民をことごとく突き倒して行く。このような者がエフライムに幾万、このような者がマナセに幾千もいる。」

イスラエルの各部族の名を挙げて、彼らのした事や、とりなしの祈りなどが述べられています。これらの内容は誰にもあてはまる事です。その内容が各部族の史実によって表されたと言ってよいでしょう。

6節には命のために祈ることで、その大切さが明らかにされています。7節には献身する者が敵

から救われるように、守りが表されています。8節からは礼拝の厳かさ、12節は住まいの祝福13節からは地の産物の祝福が祈り求められており、モーセのとりなしが表されています。

主に導かれた祈りはこのように人を霊の恵と生活の祝福で満たします。それはまたイエス様のとりにしなしの祈りでもあります。主に祝福されて、人を祝福する者でありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



33:18 ゼブルンについて言った。「ゼブルンよ。喜べ。あなたは外に出て行って。イツサカルよ。あなたは天幕の中にいて。

33:19 彼らは民を山に招き、そこで義のいけにえをささげよう。彼らが海の富と、砂に隠されている宝とを、吸い取るからである。」

33:20 ガドについて言った。「ガドを大きくする方は、ほむべきかな。ガドは雌獅子のように伏し、腕や頭の頂をかき裂く。

33:21 彼は自分のために最良の地を見つけた。そこには、指導者の分が割り当てられていたからだ。彼は民の先頭に立ち、主の正義と主の公正をイスラエルのために行なった。」

33:22 ダンについて言った。「ダンは獅子の子、バシャンからおどり出る。」

33:23 ナフタリについて言った。「ナフタリは恵みに満ち足り、主の祝福に満たされている。西と南を所有せよ。」

33:24 アシエルについて言った。「アシエルは子らの中で、最も祝福されている。その兄弟たちに愛され、その足を、油の中に浸すようになれ。

33:25 あなたのかんぬきが、鉄と青銅であり、あなたの力が、あなたの生きるかぎり続くように。」

33:26 「エシュルンよ。神に並ぶ者はほかにない。神はあなたを助けるため天に乗り、威光のうちに雲に乗られる。

33:27 昔よりの神は、住む家。永遠の腕が下に。あなたの前から敵を追い払い、『根絶やしにせよ。』と命じた。

33:28 こうして、イスラエルは安らかに住まい、ヤコブの泉は、穀物と新しいぶどう酒の

地をひとりで占める。天もまた、露をしたたらす。

33:29 しあわせなイスラエルよ。だれがあなたのものである。主に救われた民。主はあなたを助ける盾、あなたの勝利の剣。あなたの敵はあなたにへつらい、あなたは彼らの背を踏みつける。」

18節、19節は礼拝と祈りの大切さが語られ、20節からは神の審判の重要性とそのために労する者のすばらしさが表されています。22節、23節には勝利の生涯の祝福が、24節からは聖霊の油注ぎによって生きる者の勝利が述べられています。

このように神様の御心にそった祈りをしてあげるのも、してもらうのもすばらしいことです。互いに祝福を祈り合いましょう。またその希望によって主の道を正しく歩みましょう。

「しあわせなイスラエルよ。」とあります。互いの幸せを宣言しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

